

〈スポーツ審議会〉

スポーツ基本計画部会における関係団体ヒアリング



2025年12月10日（水）
一般社団法人日本スポーツフェアネス推進機構

法人概要



1. 沿革

2018年11月16日 法人設立
2019年 2月 6日 国内におけるドーピング検査事業に関する説明会の開催
2019年12月18日 2020年度におけるドーピング検査事業に関する説明会開催
以降、例年12月に加盟団体へ向けた説明会を開催

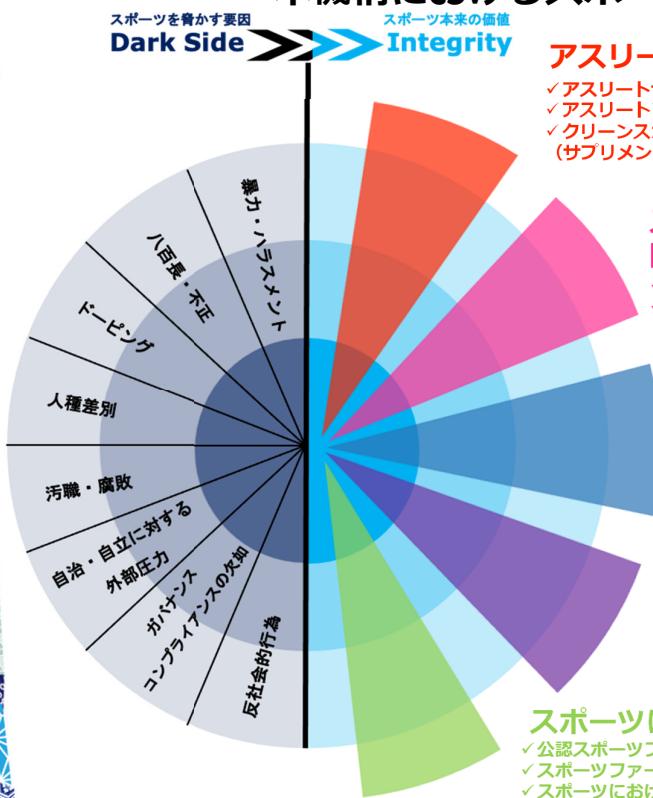
2. 運営体制

名 称：一般社団法人日本スポーツフェアネス推進機構
(英語表記；Japan Sport Fairness Commission、略称；J-Fairness)
住 所：東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 806
役 員：代表理事 河野一郎
専務理事 高橋建志
理事 尾崎貢、小川裕史、池田めぐみ、香川晴美、谷本歩実／監事 福島弦
事務局：高橋建志（事務局長）、大橋民恵、坂田紀子

3. 加盟団体（2025年7月末現在）

- ①統括団体 3団体
(公財) 日本スポーツ協会、(公財) 日本オリンピック委員会
(公財) 日本パラスポーツ協会／日本パラリンピック委員会
- ②大会組織委員会 4団体
(一社) アーバンスポーツ大会組織委員会、(公財) ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会、
(公財) 東京2025世界陸上財団、(公財) 東京都スポーツ文化事業団
- ③競技団体 104団体

本機構におけるスポーツ振興に向けた取組状況・成果



アスリートの権利保護

- ✓ アスリートサポートデスク（相談窓口）の設置
- ✓ アスリートソリダリティの運営
- ✓ クリーンスポーツニッポンセレクト（サプリメントに関する情報公開）



スポーツのフェアネスに関する活動を表彰

- ✓ スポーツのフェアネスへの貢献を表彰
- ✓ アンチ・ドーピング活動をポジティブに発信（個人10名、団体7団体を表彰）

アンチ・ドーピング体制整備

- ✓ アンチ・ドーピング体制審議委員会の設置運営
- ✓ 国内のアンチ・ドーピング体制の整備
- ✓ 世界規程、国際基準に合わせた検査の実施

スポーツのフェアネスに関する情報発信

- ✓ 国内外のフェアネス情報収集・分析
- ✓ 国内外のフェアネス情報データベース構築
- ✓ 国内外のフェアネス情報の発信（約1,000件／年）

スポーツによるウェルビーイング向上

- ✓ 公認スポーツファーマシスト認定制度の運営
- ✓ スポーツファーマシー登録制度の運営
- ✓ スポーツにおける医薬品の不適切使用防止プロジェクト

Japan Sport Fairness Award受賞者

2019年
Sir Craig Collins Reedie氏

2020年
黒田 善雄氏、塙越 克己氏、
浅見 俊雄氏、村山 正博氏、
徳島ヴォルティス株式会社

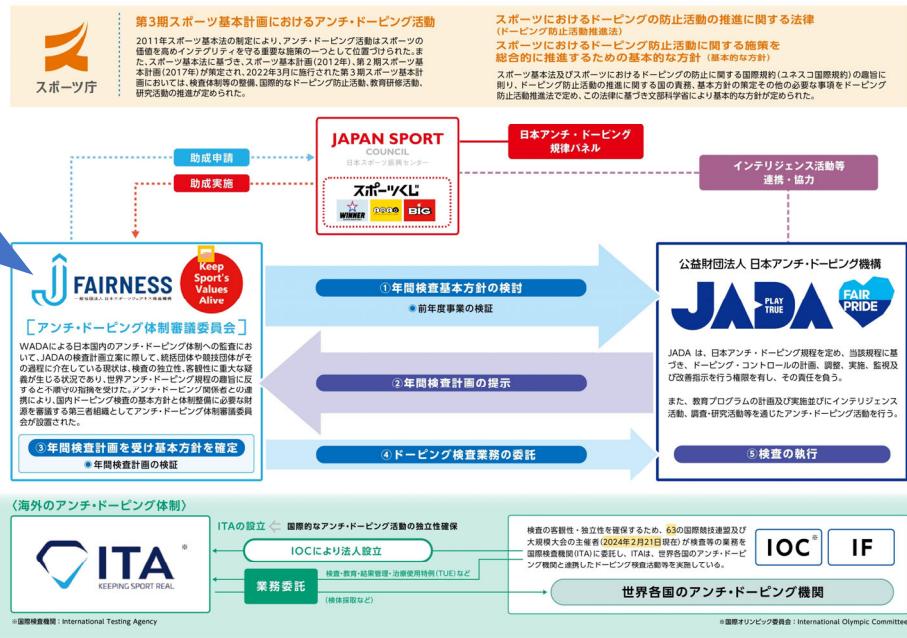
2021年
芝 紀代子氏、株式会社LSI
メディエンス、国際医療福祉大学、埼玉県立大学、女子栄養大学、大東文化大学、千葉科学大学

2025年
David Howman氏
陶山哲夫氏、田島文博氏、
草野修輔氏



国内のアンチ・ドーピング体制整備

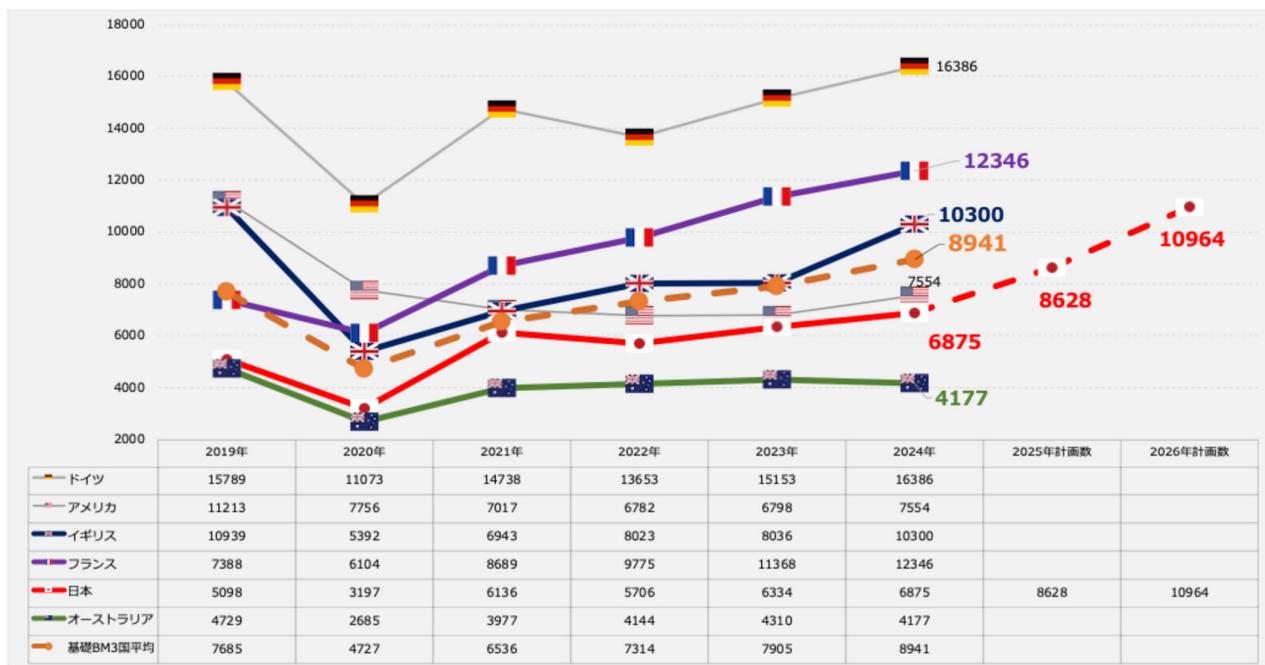
日本のドーピング・コントロール体制



- ✓ 世界規程及び国際基準に沿った検査の実施
- ✓ 検査実績の評価
- ✓ JADAの独立性、裁量権を確保

JADA「ドーピング防止情報提供事業に係る報告書」より転載

国内のドーピング検査数の推移



2019～2023年は WADA発行 ANTI-DOPING TESTING FIGURES REPORTから、2024年は各国アンチ・ドーピング機関発行のAnnual reportより抜粋

アスリートの権利保護

クリーンスポーツニッポン・アスリートサポートデスク

- アンチ・ドーピング規則違反の可能性についての通知を受け取ったアスリートを対象とした相談窓口
- プロボノ弁護士グループによるサポート
- クリーンなアスリートが安心して競技を続けられるよう支援



アスリートソリダリティ

- アスリートが自分自身の権利を守るために支援や情報提供（用語解説、違反事例、注意啓発用ショート動画等）
- ポータルサイト、YouTubeチャンネルの開設
- 公式LINEアカウントの運営

アスリートの権利保護

➤ クリーンスポーツニッポン・セレクト（サプリメントに関する情報公開）



- ・ 国内統括団体や競技団体等を一定期間以上サポートしている企業を対象
- ・ 当該企業のサプリメント情報について基準を設定
- ・ 審査委員会の審査を経て「クリーンスポーツニッポン・セレクト」として公表

The screenshot shows the official website for CLEAN SPORT NIPPON. At the top, there's a navigation bar with links for 'クリーンスポーツニッポン・セレクトについて', '製品検索', and 'お問い合わせ'. Below the header, there's a large graphic with the text 'クリーンを選び、スポーツの未来を創る。' and 'アスリートとアスリートを支えるすべての人へ、正しい選択の基準を。'. To the right, there's a section titled '製品写真を掲載' (Product photo displayed) with a placeholder box. Further down, there's a table titled '製品成分に関する資料' (Information about product ingredients) with several PDF links. At the bottom right, there's a note: '味の素株式会社が10年以上サポートをしているスポーツ団体 日本オリンピック委員会、日本スポーツ協会'.

7

スポーツによるウェルビーイング向上

➤ 公認スポーツファーマシスト認定制度



- ・ アンチ・ドーピング規則に関する知識を持つ薬剤師を認定、認定者13,114名。
- ・ 認定2024年度よりJADAとJ-Fairnessによる共同運営を開始
- ・ 2025年度よりカリキュラム改定及び新システムを導入、制度をリニューアル
- ・ アンチ・ドーピング分野に加え、スポーツ医科学分野のカリキュラムを追加
- ・ 2025年度はスポーツ医科学カリキュラムを任意のオプション講習として提供

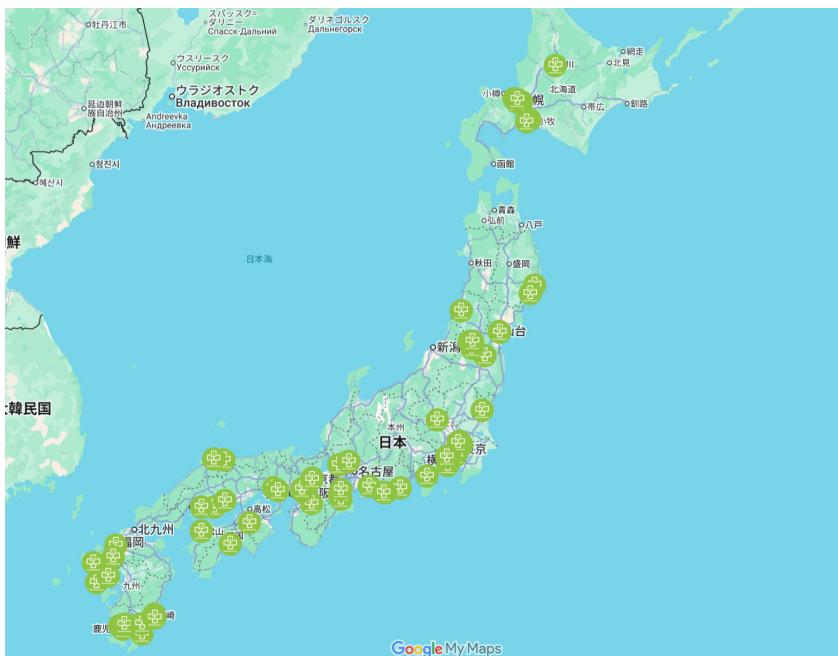
➤ スポーツファーマシー登録制度



- ・ スポーツによる人々のウェルビーイングの促進を担う地域の拠点として薬局をスポーツファーマシー®として登録、スポーツと健康に関する情報を提供
- ・ 2024年6月より募集開始、全国75店舗の薬局が登録
- ・ 子どもから高齢者まで、健康のためのスポーツから部活動や競技スポーツまで、すべての人がスポーツによる豊かな生活を享受できる社会の実現を目指す
- ・ 年度内に登録店舗を対象とした意見交換会の開催を予定

8

スポーツファーマシー® 登録店舗



全国75店舗

(2025/11末時点)

活動事例

- 子ども向けおくすり教室（静岡）
- 地域スポーツクラブとの連携（山形）
- 部活動への情報提供（三重）
- 地域の高齢者サポート（徳島）
- 大学との連携（福岡）



9

本機構における現状の課題

1. アスリートの権利保護に関する財源及び人材の確保
 - ✓ アスリートサポートデスクの運営に係る財源及び弁護士等の専門人材確保
 - ✓ アスリートソリダリティの運営に係る財源
 - ✓ セレクトの運営に係る財源、専門人材の確保
2. スポーツを通じたウェルビーイングの向上に関する事業展開
 - ✓ 公認スポーツファーマシスト認定者の活用、活動範囲の拡大
 - ✓ 公認スポーツファーマシスト認定制度の運営に係る専門人材の確保
 - ✓ スポーツファーマシー登録制度の普及及び活用
 - ✓ スポーツファーマシー登録制度の運営に係る専門人材の確保
3. アンチ・ドーピング体制整備について
 - ✓ 体制整備の事業運営に係る環境整備
 - ✓ ドーピング検査事業に係る環境整備
 - ✓ 国際競技大会開催の実施に向けた体制整備
4. その他
 - ✓ 各種事業の運営に係る財源の確保、人材の確保

10

第4期計画において期待すること

1. 本機構の役割及び機能の明確化
2. アスリートの権利保護
 - 事業運営に係る財源及び専門人材の確保に対する支援、協力
3. スポーツを通じたウェルビーイングの向上
 - 公認スポーツファーマシスト認定制度及びスポーツファーマシー登録制度における制度の普及、活用
 - 制度運営及び専門人材の確保に対する支援、協力
 - スポーツにおける医薬品の不適切使用の防止の展開の支援
4. アンチ・ドーピング体制整備
 - 事業運営に係る環境整備に対する支援、協力
 - ドーピング検査事業に係る環境整備に対する支援、協力
 - 国際競技大会開催の実施に向けた体制整備
 - 認定分析機関の維持に対する支援、協力